

事務事業名 加茂健康福祉センター管理事業		所属部 加茂総合センター	所属課 保健福祉課
総 計 画 体 系	政策名 (Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G 保健福祉G	課長名 長妻英文
	施策名 (25) 地域福祉の充実	担当者名 金森里志	電話番号 0854-49-8612 (内線) 4121
	目的 対 象 市民	注意 意 図 地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実践する。	
	基本事業名 (074) 地域の福祉課題の明確化	予算科目 0 1 1 5 0 1 0 5 1 0 1 1	大 事 業 名 社会福祉施設管理事業 中 事 業 名 加茂健康福祉センター管理事 業
目的 対 象 市民	注意 意 図 地域ごとに課題を明確にし、解決に向けた取り組みを行う。		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
加茂健康福祉センターの管理運営を行ない、利用者の福祉の向上を図る。(平成12年3月～平成16年3月は加茂町社会福祉協議会が管理委託、平成16年4月からは社会福祉法人かも福祉会に指定管理。)

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動																														
	<table border="1"> <tr> <th>26年度実績(26年度に行った主な活動)</th> <th>27年度計画(27年度に計画する主な活動)</th> </tr> <tr> <td>①指定管理者と年度協定締結 ②指定管理料の支払い ③施設管理に関する協議 ④小規模修繕事業の実施 ⑤修繕工事(雨漏り修繕)の実施</td> <td>①指定管理者と年度協定締結 ②指定管理料の支払い ③施設管理に関する協議 ④小規模修繕事業の実施 ⑤修繕工事(浴室改修)の実施 ⑥指定管理更新事務</td> </tr> </table>	26年度実績(26年度に行った主な活動)	27年度計画(27年度に計画する主な活動)	①指定管理者と年度協定締結 ②指定管理料の支払い ③施設管理に関する協議 ④小規模修繕事業の実施 ⑤修繕工事(雨漏り修繕)の実施	①指定管理者と年度協定締結 ②指定管理料の支払い ③施設管理に関する協議 ④小規模修繕事業の実施 ⑤修繕工事(浴室改修)の実施 ⑥指定管理更新事務																										
26年度実績(26年度に行った主な活動)	27年度計画(27年度に計画する主な活動)																														
①指定管理者と年度協定締結 ②指定管理料の支払い ③施設管理に関する協議 ④小規模修繕事業の実施 ⑤修繕工事(雨漏り修繕)の実施	①指定管理者と年度協定締結 ②指定管理料の支払い ③施設管理に関する協議 ④小規模修繕事業の実施 ⑤修繕工事(浴室改修)の実施 ⑥指定管理更新事務																														
	② 活動指標																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 監督指導等協議回数</td> <td>回</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	ア 監督指導等協議回数	回	10	10	12	12	イ						ウ						エ					
	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)																										
ア 監督指導等協議回数	回	10	10	12	12																										
イ																															
ウ																															
エ																															

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	①施設利用者(貸館、健診等) ②加茂健康福祉センター	ア 利用者数	人	35,680	34,185	31,978	32,000
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	①安心安全に利用できる。 ②適正に維持管理する。	ア 修繕件数	件	5	9	5	3
		イ 施設利用による事故発生件数	件	0	0	0	0
		ウ 貸館平均稼働率(参考指標)	%	72	70	66	70

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
指定管理料: 38,276千円 修繕費: 199千円 通信運搬費: 95千円 保険料: 35千円 工事請負費: 2,579千円 備品購入費: 47千円 合計: 41,231千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	7,143	6,810	6,946	6,946
	一般財源	千円	30,267	30,828	34,285	39,853
	事業費計(A)	千円	37,410	37,638	41,231	46,799
	人件費	人	1	1	1	
	正規職員従事人数	時間	60	30	50	
	延べ業務時間	千円	235	117	194	
	人件費計(B)	千円				
	トータルコスト(A)+(B)	千円	37,645	37,755	41,425	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
利用対象者に変更はない。 施設の管理は、平成12年3月から管理委託(平成16年からは、指定管理)しており、適切に管理されている。	平成12年3月～平成16年3月までは、管理委託方式。 平成16年4月から指定管理をおこなっている。	指定管理者から、これまで無かった新たな減免申請が利用者から出されることにより、利用料収入の減少が経営に影響を及ぼすとの意見が寄せられている。

事務事業名	加茂健康福祉センター管理事業	所属部	加茂総合センター	所属課	保健福祉課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設を適正に管理しており、安心安全に利用されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	地域福祉及び健康増進の拠点施設である。	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	指定管理施設であり、協定の3年間は指定管理料を変更できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	施設管理に関する業務を最小限の人員でおこなっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	誰でも利用できる施設であり、公平公正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
施設の管理方法としての指定管理は引き続き行う。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		